

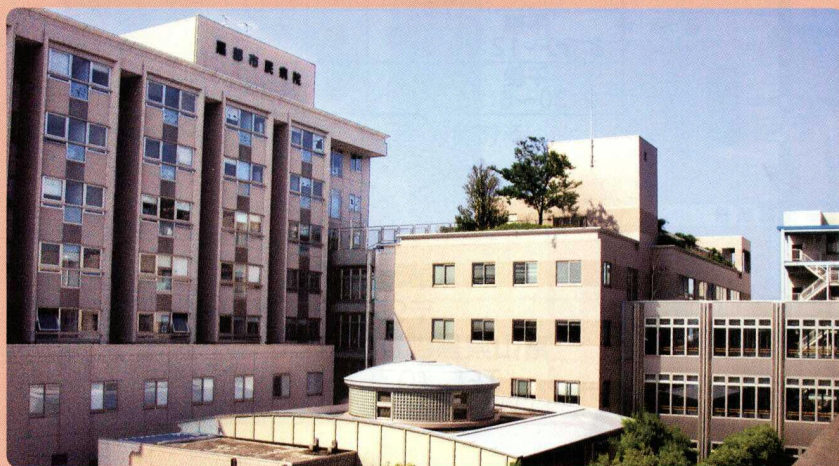
地域医療連携室

フレンディーだより

Community medicine cooperation room



第5回 疾患別TQM大会 (2006.9.20)



2006
vol. **21**

H18.11 発行

黒部市民病院 黒部市三日市1108-1

E-mail : friendly@med.kurobe.toyama.jp

病院紹介

むらおかクリニック

院長 村岡 恵一

平成17年11月に、黒部市生地で、むらおかクリニックを開院いたしております。

開業する直前まで、黒部市民病院外科、胃腸科にて勤務いたしておりました。金沢大学卒業後、金沢大学第2外科に入局し、外科医として研鑽してまいりました。黒部市民病院では、副院長の竹山茂先生のもとで、消化器および乳腺内分泌の外科手術症例を多数受けもたさせていただきました。

勤務医時代は専門が外科ですので、患者さんの多くは、消化器や乳腺の癌の方がほとんどでした。手術で完治される方が多いですが、中には、癌と診断された時点で、切除不可能なほど進行している症例も少なくありません。また、進行癌では、手術後に再発や転移をきたす症例も少なくなく、抗癌剤による加療や、緩和医療も必要となってきます。そうした患者さんの治療をしていますと、癌の早期発見の重要性を痛感することが、時々ありました。

また、患者さんの高齢化も進んでおり、外科手術の進歩もあり、80歳や90歳代の超高齢患者の手術症例も増えています。高齢者の手術後は歩行困難になったり、筋力低下により、嚥下困難になったりする症例も多く、リハビリが必要な症例が多く、リハビリにも時間がかかります。退院後の受け入れ施設も多いとは言えず、今後、高齢者医療や介護が重要になると痛感することも多くありました。

私が開業した理由あるいは目標は、癌や生活習慣病の早期発見と高齢者医療を通じて、地域医療に微力ながら貢献することです。癌や生活習慣病の早期発見という点では、黒部市や富山県の検診業務に積極的に参加したいと思っています。また、人間ドックも開設いたしました。高齢者医療、介護という点では、クリニック開設時に通所リハビリテーション施設である「てまりの丘」も併設いたしており、利用者も次第に増えてきております。

開業して、いろんなジャンルの患者さんが来られますので、黒部市民病院へは、院内で他科に患者さんを紹介するイメージで紹介させていただいております。

今後も、微力ながら頑張りますので、地域の病院の先生方、開業医の諸先生方、よろしく願いいたします。



外来診療科目

外科・内科・整形外科
リハビリテーション科・胃腸科・肛門科
人間ドック・乳腺外科も行っております。

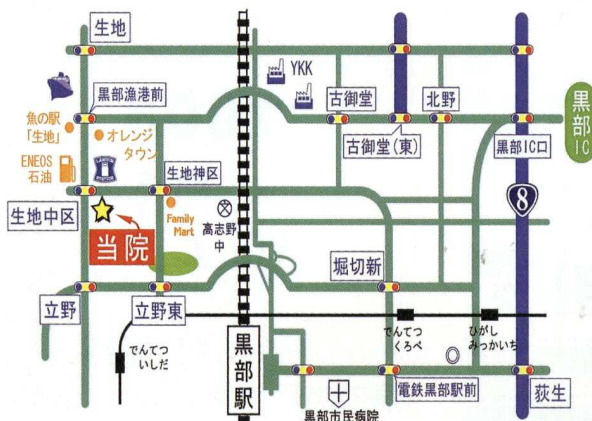
診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:30	●	●	●	●	●	● ~2:00
午後 2:30~6:30	●	●	●	△	●	△

※休診日/日曜・祝日・木曜午後

所在地

〒938-0061
富山県黒部市生地神区370番地
TEL (0765)56-5166



黒部市民病院にPET/CTが導入！

核医学・PET画像センター所長 核医学科医長
清水 正司

10月2日から黒部市民病院にPET/CTが導入されました。これに伴い、9月1日付で、富山大学放射線科から、核医学専門医（PET核医学認定医）として赴任しました。富山大学附属病院では、約16年間核医学の診療および研究を行ってきました。PETに関して約5年間の経験があり、2001年10月から2003年3月までは（財）先端医学薬学センターとの共同研究、2005年6月から2005年12月までは（株）日本メジフィジックスのデリバリー型のFDG（フルデオキシグルコース）の治験に参加しました。また、2005年10月からは、PETの保険診療および自由診療を行ってきました。黒部市民病院核医学科には、16年間非常勤医師として、毎週金曜日に応援医師として派遣されていましたが、今回、PET/CTの導入に伴い、常勤医師として着任しました。



今回導入された、PET/CTは、米国のシーメンス社製のバイオグラフ6で、同社のPET/CTの最高機種になります。従来のPETに、6列のマルチスライスCTがついており、北陸では初めての導入となります。黒部市民病院が導入したバイオグラフ6は、中でも高分解能型で、全国でも2番目の導入になる最高機種です。シーメンス社製のPETは3D収集が可能で、少ない投与量で、高分解能の画像が得られ、投与量の少ないデリバリー型FDGの撮影に向いており、患者様の被ばく軽減にもつながります。

PET検査とは、陽電子（ポジトロン）断層撮影のことで、従来のCTやMRなどの大きさや形を見る検査とは異なり、細胞の活動状態（グルコース代謝）を画像上でみることが出来ます。今回導入された、PET/CTとは、PETにCTを付けた機種です。PETは分解能ではCTにはるかに及ばないために、異常所見の正確な位置情報を知るにはもはやPET単独では不十分であり、CTなどの精密な形態画像の手助けが不可欠となっています。PETとCTの画像を融合することによって、より正確ながん診断が可能となります。また、CTを行うことによって、検査時間が5から10分程度短縮する利点もあります。

がん細胞は、増殖が盛んに行われるために、正常な細胞に比べ、3から8倍ブドウ糖を必要とします。PET検査はこのようながん細胞の特徴に着目して、がんを診断する装置です。ブドウ糖にごく微量の放射線を出す、フッ素-18 (F-18) という、放射性同位元素を標識した薬剤 (FDG) を使用します。薬剤 (FDG) は、石川県羽咋市にある先端医学薬学研究センターから供給を受けます。この検査は、陽電子を放出する薬剤を、静脈から注射し、薬剤が血液を介して、全身を移動して、がんが集まる様子を、体の外から、PETカメラで撮像します。薬剤を静脈から注射して、約1時間安静にしたのち、PETカメラの下で、約15から20分間横になっていただくだけで、検査は終了します。PET検査では、一度の撮像で、ほぼ全身を見ることができ、局所（病変部位）の診断だけではなく、全身を含めた、総合的な診断ができ、がんの早期発見、転移や再発診断に有用です。

現在、保険適応となっている悪性腫瘍は、脳腫瘍、肺がん、乳がん、頭頸部がん、食道がん、大腸がん、すい臓がん、悪性リンパ腫、原発不明がん（転移性肝がんを含む）、悪性黒色腫、子宮がん、卵巣がんです。検査費用は、PET/CTの費用が86,250円で、初診料、読影料などの諸費用とあわせると合計90,000円弱となります。自己負担額は個人によって異なりますが、この1割から3割の負担となります。ガリウムシンチグラフィやタリウムシンチグラフィなどの、従来までの腫瘍核医学検査の費用とほとんど変わらない費用です。保険適応外の疾患は全額自己負担となり、初・再診料等あわせ合計約11万円となりますのでご了承ください。また、新聞等にて報道されたように、PET検査にも限界があり、炎症や良性腫瘍にFDGが集積することもあります。また、径5から10mmの小さながん、腎尿路系のがん、扁平ながん、前立腺がん、悪性度の低いがんなどでは、FDGが集積しないこともあり、すべてのがんに有用な検査ではありません。PET/CT検査の被ばく線量は、1回当たり、約5ミリシーベルトと、胃透視検査程度の被ばくであり、健康上の問題はまったくありませんので、ご安心ください。

将来、二次医療圏ごとに指定されるがん地域拠点病院においては、PET/CTはがん診断、治療に欠かせない画像診断装置になると考えられます。PET/CT導入によって、新川地区の中核病院として、さらに信頼される病院になるように、スタッフ一同頑張りたいと思っています。

他の医療機関からのPET検査の依頼は、従来のCTやMRI等の画像診断の依頼と同様に、地域医療連携室（フレンディー：TEL：0765-56-7230、FAX：0765-54-2981）を通して行っています。また、健康管理センター（TEL：0765-54-7232、FAX：0765-54-2895）では、人間ドックの項目にPET/CTを加え、PET/CTによる検診（消費税込：94,500円）も行っています。

PET/CTに関する問い合わせは、従来の核医学検査同様、核医学・PET画像センター（TEL：0765-54-2212）で受け付けていますので、ご不明な点がございましたら、ご連絡ください。

診療科紹介

形成外科



西川雄希医師とスタッフ

—ごあいさつ—

本年4月より常勤になりました形成外科よりご挨拶申し上げます。あまり聞き覚えのない科かと思えますので、形成外科について少し紹介させていただきます。形成外科は単に病気やケガ、形態異常を治すのではなく、できる限り傷跡が目立たないようにする科です。傷はまったく無くなることはありませんが、目立たなくする努力は惜しみません。簡単にいえば、体表面のシゴトを得意とする外科で、保存的治療、手術的治療を問わず傷を治す専門医であるとも自負しております。

もし、ここにあげたような外傷や疾患でお悩みの方がいらっしゃいましたら、どうぞ、お気軽にご相談、ご紹介ください。

—診療体制—

医師は常勤1名、非常勤2名、診療時間は月曜日と水曜日が午後診察（14:00から16:00）となり、火曜日、木曜日、金曜日は午前診察（9:00から11:00）となっております。それ以外は手術時間にあてておりますが、月曜、水曜の午前も再診予約に限って診察を受け付けています。

—対象疾患—

さて、形成外科の対象疾患になりますが、皮膚の腫瘍、外傷、熱傷から褥瘡、先天異常まで体表の異常全般となります。具体的な対象疾患としては、次にあげる①から⑦になります。

①先天異常

- ・口唇裂・口蓋裂
- ・合指（趾）症・多指（趾）症などの手指の異常
- ・眼瞼下垂・眼瞼内反などの眼瞼の異常
- ・埋没耳・小症などの耳の異常
- ・頭蓋骨の変形や顎変形症などの顔・頭の異常

②外傷

- ・顔の切り傷や鼻骨や頬骨骨折などの顔面外傷や骨折
- ・手指の切り傷から腱断裂や指の切断に至るまでの手足の外傷や熱傷（やけど）

※手足の外傷に関しましては、現在、整形外科にお任せしております。

③癒痕・拘縮

・ケガや手術による癒痕（醜状痕）や癒痕による拘縮、ケロイド、熱傷の癒痕

④腫瘍

・皮膚の腫瘍（皮膚や皮下のしこり、イボなど）や色素性母斑（ホクロ）などの色素異常、血管腫（赤あざ）など各種のあざ、さらに皮膚癌やその再建

⑤難治性潰瘍（深いきず、ただれ、びらん）

・下腿や足趾の潰瘍、褥瘡、保存的に治らない傷、皮膚潰瘍

⑥美容外科（美容整形）

・美容外科は、一般的に美容整形といわれるもので、いわゆる二重の手術やしみ、しわをなくす治療です。（当院では、当分の間、行う予定はありませんが相談にはのらせていただきます）

⑦その他

・この他、爪の変形や痛み（陥入爪や巻き爪）、顔面神経麻痺、腋臭症（わきが）も扱います。また、男性型脱毛症（いわゆるハゲ）に対する内服療法も行っております。

この中には、既存の皮膚科、整形外科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、眼科と重複してしまう疾患も多数ありますが、それぞれ協力し合って診療に当たらせていただくつもりです。

— 特色・特徴 —

専門といえるほどの経験もありませんが、当施設では、眼瞼の手術、男性型脱毛の治療（ポスター画像参照）、および下記の炭酸ガスレーザーを用いた治療に特に力を入れております。

— お知らせ —

9月より炭酸ガスレーザーが導入されました。対象となる疾患は、主に皮膚表在性の疾患や腫瘍ですが、具体的には脂漏角化症、色素性母斑（ホクロ）、尋常性疣贅（イボ）、線維腫、表在性の癒痕、化膿性肉芽腫、汗管腫、黄色腫などです。その他、外傷創や褥瘡の壊死除去／デブリードマンにも応用しております。ホクロでも保険適応にて治療できるものもありますので、希望がありましたらぜひ紹介してください。写真は脂漏角化症と色素性母斑の1例です。



BANYU

**抜け毛・薄毛
が気になりますか？**

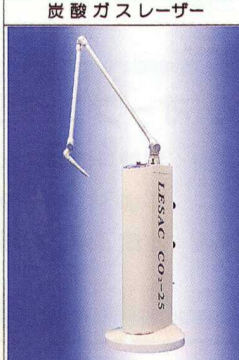




AGAとは男性型脱毛症のことで、男性に多くみられる脱毛症で、髪の成長とともに「抜け毛」「薄毛」が進行していきます。

お気軽にご相談ください

AGA

AGA治療センター 東京駅前店
http://aga-nishi.jp

CO₂レーザー手術装置を
導入しました！

治療前	治療後	炭酸ガスレーザー 
		
母斑細胞母斑		
		
脂漏性角化症		LESAC CO ₂ -25

トピックス

院内Drコンサート

8月19日（土）に小児科医、研修医によるミニコンサートが開かれました。

入院中の小児や院内保育所の子供たちにとって遅い夏祭りでしたが、とっても喜んで聞かしていました。



新任ドクター 紹介



●核医学科医長
清水 正司
(しみず まさし)
専門：核医学



●脳神経外科医長
野村 耕章
(のむら ひろあき)
専門：脳血管疾患



●内科医長
吉澤 都
(よしざわ みやこ)
専門：糖尿病
内分泌疾患



●内科医員
北野 鉄平
(きたの てつぺい)
専門：循環器疾患



●臨床研修医 2年生
新村 和也
(しんむら かずや)

講演・勉強会のご案内

1.第12回黒部市民病院公開医学講座

日時：11月11日、11月18日（各土曜日、全3日間）
午前9：00～午後12：00（90分間2講義/日）
場所：本館3階 講堂
受講料：1,000円
（1日講義のみ希望の場合は500円/日）

2.新川胸部疾患検討会

日時：毎月第2木曜日
午後6：30～午後8：00
場所：本館3階 指導室

3.オープンベッドカンファレンス

日時：偶数月の第2水曜日
午後6：45～午後7：45
場所：本館3階 指導室

4.内科カンファレンス

日時：毎週火曜日
午後6：40～
場所：本館3階 指導室